

2020年も残すところあと僅かとなりました。

令和2年度のオリンピック・パラリンピック・ムーブメント展開事業も1月末をもって終了いたします。

今回は年内最後の更新です。小野市立河合小学校、県立高等特別支援学校、県立篠山東雲高等学校の取組を紹介します。

皆様、お身体に気を付けてよいお年をお迎えください♪来年もどうぞよろしく願いいたします!(^^)!

12月4日（金）小野市立河合小学校

ロンドンオリンピック 女子サッカー銀メダリスト 川澄 奈穂美さんによる「夢に向かって～今伝えたいこと」と題された講演会がオンラインにて実施されました。

講演では、海外を拠点に活躍されている川澄選手の現在の生活と、サッカー選手になるまでの道のりをお話いただきました。

小学校2年生の頃から「サッカー選手になる」という夢を持っていた川澄選手。夢は叶ったら終わりではなく、次の夢が出てくるといふこと、その夢に向かって諦めず前向きに努力をしていたらどんどん自分が成長できているということ自身を経験を通して教えていただきました。

最後は、明るく手を振る児童の皆様に「壁にぶつかることも多いし、うまくいかないことの方が多い。でも難しいからこそ努力して得られるものがある。だから、みんなも前向きに頑張ってほしい。」とメッセージを送られました。



12月9日（水）県立高等特別支援学校

三田市城山公園体育館で車いすバスケットボール選手4名をお招きした体験学習が行われました。

生徒の皆様は前日に車いす操作の練習をしていたそうですが、当日講師の方々に改めて教えていただく中で、1分間選手から逃げ切れるかの鬼ごっこを体験。30秒足らずで全員タッチされるという驚異のスピードと迫力に驚きの声が上がっていました。

5対5のゲームでは、各チーム講師の方も交えて体験。練習の成果もあり、チームメイトと声をかけ合ってゲーム開始から勢いのある展開となりました。障がいに関係なくスポーツを楽しむ姿は、パラリンピックの意義や価値を改めて感じさせるものでした。

講師の1人、アトランタパラリンピック 車いすバスケットボール日本代表の黒木さんからは、「皆さんには未来があります。色んな事に興味を持って挑戦してください。“頑張ろう”と思う気持ちが大切。努力は必ず報われるので、夢や目標に向かって頑張ってください」とのメッセージを送られました。



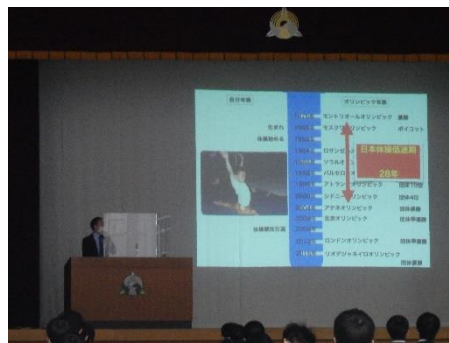
12月18日（金）県立篠山東雲高等学校

アテネオリンピック男子体操 団体総合金メダリスト 鹿島 丈博さんを講師としてお招きし、「オリンピックまでの道のり～一流の共通点～」と題した講演会が実施されました。

中学3年生で全日本選手権を制し、一気に注目され、そこからずっと第一線で活躍されてきた鹿島さんだからこそ向き合ってきた課題や、体操競技を通して見つけた自分を変えて成長させる方法、体操競技の特徴などをお話いただきました。

中でも【夢を目標に変える】【目標を出来るだけ具体化し、頑張る方向性を分かりやすくする】【自分の中で「いるもの」「いないもの」の分別】などの自分を変える方法は、スポーツに限らずどんな場面にも通ずるものであり、聞いた誰もが今後の生活に活かすことのできる貴重なお話でした。

講演の最後には、「失敗することは些細なことです。失敗をそのままにせず、次の一步への手掛かりを考えることが大切。努力や頑張った結果は報われることばかりではない。しかし、それまでにやってきたことは必ず自分に返ってきます。」と、自分が決めた目標に向かって挑戦し努力し続ける大切さを教えてくださいました。



令和2年度 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業における地域拠点である兵庫県の取組は、令和3年1月31日を以て終了させていただきます。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響による緊急事態宣言、臨時休業など前例のない事態に学校運営も危ぶまれる中、事業に協力してくださった推進校の皆様には心より感謝申し上げます。

今年だからこそそのオンライン形式の講演会など新たな実践もあり、今後に向けて取組の可能性の広がりを感じることができました。

来年度もオリンピック・パラリンピック・ムーブメント展開事業は実施予定です。

関係者の皆様には、引き続き大変お世話になります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



本年も大変お世話になりました。
皆様、お身体にはお気をつけて
よいお年をお迎えくださいませ。